

入札等監視委員会の議事概要の公表について

北九州市入札等監視委員会の平成30年度第1回定例会議を次のとおり開催したので、別添のとおりその議事概要を公表する。

記

開催日時 平成30年5月24日（木） 14：00～15：40

会 場 北九州市庁舎3階 特別会議室B

平成30年度 第1回 北九州市入札等監視委員会 議事概要

1 会議名

平成30年度 第1回 北九州市入札等監視委員会

2 開催日時・会場

開催日時 平成30年5月24日(木) 14:00～15:40

会場 北九州市庁舎3階 特別会議室B

3 出席委員(五十音順)

今泉 恵子、田籠 亮博、中尾 美佐、松田 亨、森江 由美子

4 議事

(1) 委員長選出

今泉委員が委員長として選出された。

(2) 委員長職務代理者の指名

中尾委員が委員長職務代理に指名された。

(3) 平成29年度第4四半期の工事契約状況等の報告

ア 次の事項について報告した。

- ・工事契約件数及び契約金額について
- ・建設工事等有資格業者に係る指名停止及び資格取消について

(4) 平成29年度第4四半期の工事契約抽出案件の審議

ア 抽出方法について

審議する案件は、平成29年度第4四半期に契約をした工事の中から、中尾委員が10件(契約課契約分8件、上下水道局分2件)を抽出した。

イ 審議における質疑等

(問) 一般競争入札による建築工事だが、落札額が大きい割に参加業者が少ないため、詳しい入札状況を知りたい。

(答) 参加業者は11者であり、落札率が91.81%と高く見えるが、最低制限価格を十数万円上回る額での落札なので、適正な競争が行われたと考えている。

(問) 指名競争入札による舗装工事だが、参加業者26者のうち22者が不参加、もしくは辞退しているため、詳しい入札状況を知りたい。

(答) 工事場所は、昼夜を通して交通量が多い所であり、安全管理が非常に重要な難しい工事であることから、応札する業者が少なかったと思われる。落札した業者は、価格は低い方から3番目だが、総合評価落札方式

で価格以外の評価が1番高かった。

(問) 今回は安全管理が難しい工事ということだが、これに対応できる能力があるかどうかは、どの評価項目で判断できるのか。

(答) 工事成績を評価する際、安全対策も点数として評価されるため、評価項目の「過去の工事成績」の点数を参考にすることができる。

(問) 一般競争入札による電気工事で議会案件だが、市外業者が落札しており、落札率が低いため詳しい入札状況を知りたい。

(答) 特殊な電気設備の工事であるため、市外業者も含めた形で参加を募った。今回は工事費の大部分が機器費にあたるため、最低制限価格を設けておらず、企業努力で、落札価格が低くなったと思われる。

(問) 一般競争入札による旧安川邸の建築工事だが、参加業者が7者と少ないため、特殊性があるかなど、詳しい入札状況を知りたい。

(答) 市が有形指定文化財を目指している建物であるため、丁寧な施工が要求される、かなり難度の高い工事である。よって、入札には細かい条件が付されており、応札が5者(参加者7者のうち2者辞退)にとどまったものと思われる。

(問) 一般競争入札による港湾工事だが、参加者が少なく、落札率が非常に高いため、詳しい入札状況を知りたい。

(答) 若戸渡船の戸畑側に仮設置している浮棧橋を本設置する工事で、海に杭を打ち込む作業が大半になる。かなり専門的な施工が必要であり、経験のある港湾業者でなければ施工管理は難しいと思われる。結果、入札参加者は2者にとどまり、落札率が高くなったと考えている。

(問) 指名競争入札による建築工事だが、トイレ工事にしては落札率が低いいため、ユニット工法であったことが入札状況にかかわっているのかを知りたい。

(答) トイレ工事に関しては、過去、入札不調になることが多く、落札率も高かったため、平成29年度からはユニット工法を取り入れている。結果、不調になることはなくなり、今回の入札でも最低制限価格を数万円上回る程度の価格で落札となり、落札率が低くなったと考えている。

(問) 指名競争入札による土木工事で、指名業者は多いが、落札率が非常に高くなっているため、詳しい入札状況を知りたい。

(答) モノレールPC桁嵩上げ工事で、工事が夜間に限られること、国道での高所作業になるため安全管理などが特に求められること、高い精度管理が要求される等、条件が厳しい工事だった。業者には、その厳しい条

件の割には利益率が低いと判断されたのではないかと思われ、指名した26者のうちほとんどが辞退し、3者のみの応札にとどまった。

(問) 一般競争入札と指名競争入札では、辞退した場合にペナルティはあるのか。

(答) 発注者側としては、指名競争入札ではできるだけ多くの業者を指名し、一般競争入札でも条件を満たせば多くの業者に参加してもらい競争性を高めようとしている。よって、適正な競争を確保するために辞退を認めており、ペナルティは設けていない。

(問) 指名競争入札による機械器具設置工事だが落札率が非常に高いため、詳しい入札状況を知りたい。

(答) 昇降機設置工事で、5者が応札したが、4者が最低制限価格を下回り失格となった。原因としては、今回は設計金額等を精査した上で、最低制限価格を設けることとしたが、昇降機設置工事では最低制限価格を設けない場合が多く、推測ではあるが、今回も最低制限価格は設けられていないと業者が思い込み、このような結果になったのではないかと考えている。指名通知には設けない旨は明示していた。

(問) 一般競争入札による機械器具設置工事だが、落札率が非常に低いため、詳しい入札状況を知りたい。

(答) 汚水ポンプ機械設備改良工事で、機器費の割合が高かったため最低制限価格を設けていなかった。よって、メーカーとの交渉など調達面で企業努力が生かされた結果価格が抑えられ、落札率が低くなったと考えている。

(問) 指名競争入札による機械器具設置工事2件だが、落札業者が同じで、落札率がどちらも非常に高いため、詳しい入札状況を知りたい。

(答) 1件目は12者を指名したが、年度末の入札であったため技術者が不足しており、応札が3者にとどまったと考えている。2件目は競争性を確保するために、市外業者まで入れて11者を指名したが、応札は5者であり、同じく年度末の入札という点で、技術者の配置ができない業者が多かったと思われる。2件とも工事内容は違い、指名業者も違うが、たまたま2件とも指名されていた同じ業者が落札した。

(問) 落札直後に、同じ工種で同じ業者が指名をされている案件があれば、参加資格を取消するという要件は、今回はなかったのか。

(答) 機械器具設置工事の場合、取消要件は設けていない。取消要件を設ける工種は多いが、登録業者数が少ない工種の場合などは設けていない。